

プレスリリース

2018年4月5日

フェリング社、マイクロバイオームのパイオニアで革新的なバイオテクノロジー企業の Rebiotix 社を買収

- Rebiotix 社の RBX2660 は、再発性クロストリジウム・ディフィシル感染症（Clostridium difficile infection、CDI）予防に対する非抗菌薬として第 III 相臨床開発が進行中です。ヒトマイクロバイオーム製品として世界初の承認薬となる可能性があります。
- CDI は米国において最も多い医療関連感染症のひとつで、毎年 500,000 例以上が罹患し、およそ 29,000 例が死亡しています¹。
- フェリング社のグローバルカによって、Rebiotix 社の Microbiota Restoration Therapy™（MRT™、マイクロバイオーム再構築治療）薬のプラットフォームから開発され、今後承認されるヒトマイクロバイオーム治療薬のすべてについてアクセスの拡大を確保します。

スイス・サンブレおよび米国ミネソタ州・ローズビル発 – 本日、フェリング・ファーマシューティカルズ社（Ferring Pharmaceuticals、以下「フェリング社」）*および Rebiotix 社は、フェリング社による Rebiotix 社の買収に合意したことを発表しました。この買収によって、両社はともに、ヒトマイクロバイオームの開発および解明に対する共通のコミットメントを共有し、新たなソリューションを開発する革新的なヘルスケア企業となります。

Rebiotix 社の最も先進的なマイクロバイオーム治療薬 RBX2660 が、再発性 CDI 予防に対する非抗菌薬として、現在第 III 相臨床開発が進行中です。RBX2660 はヒトマイクロバイオーム製品として世界初の承認薬となる可能性があります。米国では、食品医薬品局（the Food and Drug Administration、FDA）のファストトラック指定、ブレイクスルー・セラピー指定、および希少医薬品指定を受け、これはすなわち、申請を提出した時点で FDA によって Expedited Review（迅速承認制度）の対象として認められたこととなります。

フェリング社代表取締役社長兼最高執行責任者のミシェル・ペティグリュエ氏は次のように述べています。「科学的先進企業である Rebiotix 社は、消化器系疾患領域でリーダーシップを発揮するフェリング社に目覚ましい戦略的価値をもたらしてきました。マイクロバイオームを標的とした治療は、ヘルスケアを一変させる可能性を秘めています。共に、このまたとない機会を生かし、クロストリジウム・ディフィシル感染症のような消耗性かつ生命を脅かす疾患を抱えて生きる皆様のお役に立ちたいと考えております」。

Rebiotix 社独自の MRT 薬のプラットフォームにより、消化管にヒト由来の健康で生きた微生物を届けることができます。投与しやすい形態で迅速に使用できるよう標準化し安定化した製品を提供しています。また、MRT パイプラインでは、多くの治療薬が試験中で、この中には非凍結、凍結乾燥、経口カプセル処方 of RBX7455 も含まれ、再発性 CDI に対する予防薬として開発中です。

「フェリング社は、マイクロバイオームが人間の健康に果たす役割を解明したいという情熱を当社と共有しています。また、フェリング社のグローバルカによって、現在試験中の治療薬に大きな可能性をもたらすと考えています。Rebiotix 社は、ヒトマイクロバイオームの力を利用して、ヘルスケアに革命を起こすべく設立しました。今回の買収は、目標達成

に向けた重要なマイルストーンになるでしょう」と Rebiotix 社の創業者社長兼最高経営責任者リー・ジョーンズ氏は述べています。

また、フェリング社のチーフ・サイエンス・オフィサーのパー・フォーク氏は次のように述べています。「今回の買収によって、フェリング社のイノベーション・パイプラインが強化され、フェリング社が独自に進めているマイクロバイオーム研究が補完されて、この分野で世界をリードする組織としてのパートナーシップも強化されることになります。Rebiotix 社の文化と、高品質、革新的な研究に対する情熱は、フェリング社の思いと一致し、さらにこれまでの研究開発能力を補完してくれるものと考えています」。

Rebiotix 社の買収に加え、消化器系疾患領域のリーダーとしてフェリング社は、マイクロバイオーム研究分野において、カロリンスカ研究所の Science for Life Laboratory（生命科学研究所）、Centre for Translational Microbiome Research（トランスレーショナル・マイクロバイオーム・リサーチセンター）、Intralytix 社、パスツール研究所、リール大学、MyBiotics Pharma 社、March of Dimes（マーチ・オブ・ダイムス）および Metabogen 社など、世界トップレベルの研究機関と継続的なパートナーシップを通じて支持されています。

- 以上 -

フェリング・ファーマシューティカルズ社について

フェリング社は、研究開発型で専門領域に特化したバイオ医薬品グループで、世界中の人々が家族を持ち、幸せに生きられるよう尽力しています。スイス・サンブレを本拠地とするフェリング社は、生殖医学および女性の健康分野をリードし、消化器系疾患および泌尿器科領域を得意分野としています。これまで 50 年以上にわたり、お母さんと赤ちゃんを対象とした治療を展開してきました。現在、研究開発費の 3 分の 1 以上を革新的な個別化医療のソリューションの研究に投資し、受胎から出産までお母さんと赤ちゃんを支援しています。1950 年創業のフェリング社は、現在、世界中で約 6,500 人の従業員を擁し、約 60 か国に事業所を設けて 110 か国で製品を販売しています。

さらに詳しい情報については、当社ホームページ www.ferring.com、または [Twitter](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#)、[LinkedIn](#) および [YouTube](#) をご覧ください。

Rebiotix 社について

Rebiotix 社は最新の臨床マイクロバイオーム企業で、ヒトマイクロバイオームの力を利用して、難病治療に革新をもたらすことに特化した企業です。Rebiotix 社はまた、独自に開発した MRT プラットホームによって構築した医薬品によって複数の疾患状態を標的とした奥深く多様な臨床パイプラインを擁しています。MRT プラットホームとは、標準化し安定化した医薬品テクノロジーで、ヒトマイクロバイオームを再構築するためにデザインされたもので、迅速に使用できる投与しやすい形態によって、生きた微生物の幅広い微生物叢を腸管に送達します。Rebiotix 社、およびヒトマイクロバイオームを標的とした Rebiotix 社のパイプラインについての詳しい情報については、www.rebiotix.com をご覧ください。

RBX2660 について

RBX2660 は Rebiotix 社が所有する MRT 薬のプラットフォームを用いた最も先進的な医薬品です。RBX2660 は、再発性 CDI 予防を対象として現在第 III 相臨床開発が進行中で、ヒトマイクロバイーム製品として世界初の承認薬となる可能性があります。RBX2660 は腸管微生物の微生物叢懸濁液で、浣腸により投与します。

* Ferring Holding 社は、フェリング・ファーマシューティカルズ社のグループ企業として同意し署名しました。

参考文献：

1 米国疾病対策予防センター。Nearly half a million Americans suffered from Clostridium difficile infections in a single year (年間およそ 50 万人の米国人がクロストリジウム・ディフィシル感染症に罹患する) プレスリリース 2015 年 2 月 25 日。

オンライン <https://www.cdc.gov/media/releases/2015/p0225-clostridium-difficile.html> で入手可能。最終アクセス 2018 年 4 月。

詳細情報については、こちらにお問い合わせください：

Bhavin Vaid

Head of Corporate Communications

+41 58 301 0952 (直通)

+41 79 191 0632 (携帯電話)

bhavin.vaid@ferring.com

Jason Rando (Rebiotix 社)

Tiberend Strategic Advisors

+1 212 375 2665 (直通)

+1 917 930 6346 (携帯電話)

jrando@tiberend.com